

令和8年度 須磨シニアコミュニティ

事業計画

【 部署 】施設本部

- 計 画 (1) 経営の安定 特養・ショート・デイ 毎月の予算達成
(2) 人材育成 働きやすい職場環境の整備
(3) 施設設備 維持更新

【 部署 】特養相談員

- 計 画 (1) 稼働率の安定
病院へ空床状況や空床の見込みを定期的に発信する。
(2) 入院中の状態を常時確認し、早期の退院を促し入院者を減らす。
多職種(看護師・栄養士・ケアマネ・介護士)への情報共有

【 部署 】ショート相談員

- 計 画 (1) 稼働率の安定
居宅介護支援事業所や病院に空床状況の発信を行う。特養空床を活用する。
(2) 利用者のニーズの把握
サービス担当者会議へ出席し、利用者や利用者家族のニーズを把握する。

【 部署 】特養・ショート介護

- 計 画 (1) 基本の見直し
基本的な介護方法の再確認、記録の再整備
ユニット単位ではなくフロア単位での業務改善
(2) 業務の効率化 フロア単位での情報の共有への取組み
(3) 職場環境の整備 ユニット単位でのルールをフロア単位に見直し動き易い職場
づくり、各利用者担当制の取組み
(4) 看取りの実施 看護部門との連携、教育

【 部署 】特養・ショート看護

- 計 画 (1) 健康管理
看護業務が円滑に行える様、報告、連絡、相談を徹底する。
入居者、家族との情報共有を行い、体調管理に努める。
(2) 稼働率の安定
多職種、病院との連携を密にし、入居者の入院を軽減し、稼働率を維持する。

【 部 署 】 デイサービスセンター

- 計 画
- (1) 稼働率の安定
 - (2) 業務内容の改善・任務分担の改善
 - (3) 働きやすい環境の整備
 - (4) 持ち場を頑張っって周りを助ける
 - (5) 基本に戻って考えて行動する
 - (6) 口腔機能訓練加算取得

【 部 署 】 須磨シニアケアプランセンター

- 計 画
- (1) ケアマネジメントプロセスの充実
訪問・面接等的確な対応でご利用者、ご家族との信頼関係を構築し深める。
自立支援の理念に沿った居宅サービス計画を作成する。
 - (2) 関係機関との連携強化
各サービス事業所、地域包括支援センター、主治医等医療機関、その他支援者と情報交換を行いながら適切なサービス提供を行う。
 - (3) 専門職としての資質の向上
ケアマネジメント、認知症ケア、BCP、感染症予防など研修に参加する。
 - (4) 介護支援専門員同士の情報交換
ケアマネジャー間で随時情報交換する。
地域開催のケアマネ連絡会に積極的に参加、情報交換しケアマネジメント点検をする。
 - (5) 新規ご利用者の獲得
地域包括支援センター、医療機関、その他連携機関などに訪問して新規ご利用者の獲得に努める。

【 部 署 】 東須磨ケアプランセンター

- 計 画
- (1) 介護保険に添って適切な運営を行う。
 - (2) 利用者自身が持っている強みに着目し、可能な限り自立した生活が出来るように支援する。
 - (3) 地域の特性や課題に着目する。あんしんすこやかセンターや役所等と連携を取り困難ケースに対応出来る力をつける。
 - (4) 職員が辞めない職場環境づくり。困難ケースは情報共有し解決策を考える。
 - (5) 事務作業の効率化を図る。
 - (6) 新規ご利用者を獲得する。

【 部 署 】板宿あんしんすこやかセンター

- 計 画
- (1) 神戸市地域包括支援センター運営評価基準を遵守したセンター運営・および地域活動（広報・啓発など）
 - (2) 職員相互の信頼・協力関係を構築し情報共有を密に行い、専門性の発揮とチームアプローチを両立する。
 - (3) 地域診断を通じて地域課題の客観化・分析を行い、住民・多職種多機関との協働で問題解決にあたり支援する。
 - (4) 職員が長く働き続けることができる職場環境づくり（働きやすい勤務環境の整備：事務所移転の検討や就業規則の見直し検討など）
 - (5) ケアプランデータ連携システムの導入を行い、業務の効率化や事業所との連携を密にする。